

瀋陽駐在員事務所

皆さん、2018年の春節はいつだったかご存知ですか？

今年の「春節」は2月16日でした。そもそも「春節」とは、旧暦の元旦にあたります。「春節休暇」とは、春節前日の2月15日からの21日までの7連休になります。日本の正月に当てはめると、大晦日の12月31日から1月6日までがお休みということになります。春節(旧暦元旦)は毎年変わります。2000年~2018年で見ると、一番早かったのが、2004年の1月22日、一番遅かったのが、2015年の2月19日ですから、約1カ月程度離れています。先の長い話になりますが、2100年までで見ると、最も早いのが、2061年と2099年の1月21日、最も遅いのが、2034年、2053年、2072年の2月19日です。大まかに言えば、毎年1月下旬から2月中旬までの間に「春節」が来ると言うこととなります。



ところで中国には春節休暇以外にも長期休暇があります。ご存知の方も多いと思いますが、毎年10月1~7日の「国慶節」です。長期休暇に多くの中国人が海外旅行に行くのは、今の中国では恒例行事のようになっています。

中国には、この長期休暇のほかにも祝日があります。全部言えますか?! 1月1日「元日」、4月5日「清明節」、5月1日「労働節」、6月18日「端午節」、9月24日「中秋節」の5日です。そして、海外駐在員は、海外の祝日に合わせて休みます。日本の祝日には休んでません! 皆さん、ご存知でしたか?!

正司 毅

ウラジオストク駐在員事務所

冬のウラジオストクで楽しめる氷上釣り

最低気温が-20度を下回ることも多いウラジオストクでは、冬になると周辺の海域が氷で覆われるなど、大変厳しい環境になりますが、多くのウラジオストク市民は寒さにも負けず、氷結した海上での魚釣りを楽しんでいます。

この釣りの醍醐味は何といても、ワカサギ釣りの要領で手軽に魚釣りを楽しめるところにあります。狙う魚は、キュウリウオ、チカ、コマイ、カレイなど、北海道の釣り人の間ではおなじみとされる魚種がターゲットとなっており、当地の釣具屋でも、日本の釣具が数多く陳列されています。

冬の魚釣りは、ウラジオストクで生活するロシア人にとって、趣味を超えた生活の一部でもあり、多くの人々に浸透し、愛されています。厳しい冬を「耐える」のではなく、「楽しむ」ことで新たな季節を迎える。

そんな生活の豊かさがここにはあります。もちろん釣れた魚は自宅に持ち帰り、干したり、揚げたりする食材としても好まれています。

ただし、岸壁から外洋に海水とともに流され漂流してしまうことや、海中落下などの不慮の事故も毎年起きており、危険とも隣り合わせのことですので、楽しむ機会がある際には、ご注意を。

山崎 龍人



北陸銀行バンコク駐在員事務所

待望の LCC 就航へ

今年1月、エアアジア社は札幌 - バンコク便を4月から開始すると発表しました。タイ人にとってLCC(格安航空)は幅広い世代で利用されており、近年のタイでの北海道人気を考えると、待望の路線といえます。

4月にはソンクラーンというタイの大型連休があり、今年も多くのタイ人が北海道へ観光に訪れるものと思われます。では今、タイ人は何を楽しみに北海道へ旅行するのでしょうか。その手掛かりとして、バンコクの街中にある、エアアジアのバンコク 札幌線の就航を知らせる看板をご覧ください(写真参照)。

そこには、「大通公園」、「さっぽろテレビ塔」、「花畑」、「メロン」、「寿司」、「カニ」、「気球」、「熊」、「自撮り」といったタイ人が北海道で体験したい事が盛り込まれています。

驚いたのは、この看板に大通3丁目にある地下街への出入口の「SAPPORO」の表示(札幌スマイルロゴ)が入っている事です。この表示も1つの観光資源になっているようです。



エアアジア
札幌線就航の広告

吉田 雄司